



事業実績シート（研修及び調査・研究）

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算					
事業費（円）		158,748	132,861	78,776					
（財源内訳）	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他								
	市町振興共同事業助成金	105,831	88,573	52,517					
	一般財源	52,917	44,288	26,259					
目標・目的指標	指標名		指標設定の考え方		単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	市町村職員中央研修所への派遣数職員	市町村職員中央研修所への派遣職員数 1人		目標	2	2	1	
					実績	2	2	1	
					目標達成率（%）	100	100	100	
	②				目標				
					実績				
				目標達成率（%）					

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 実施することによるメリット
	<p>(内容、程度等)</p> <p>本町の職員研修体系は、通常職員経験年数による階層別研修と具体的な項目等に必要な専門研修の2種類であり、受講に当たっても2日程度がほとんどである。市町村職員中央研修所は、共同宿舎に宿泊し、10日程度の長期にわたり、集中して専門的な知識を習得することが可能で、しかも全国から様々な地方団体の職員が集まっており、交流することによって地方の実態や同じ立場にある職員の対応方法など、多岐にわたる知識や情報を得ることができる。また、研修終了後も情報交換等がなされ、行政事務に役立たせている職員が多いのが実態である。</p> <p>このことは、一職員の経験の中でも貴重な財産となるものであり、職員の資質の向上のためには非常に有意義な研修となっている。</p>

## 事業実績シート（研修及び調査・研究）

### 4 有効性の点検、実現性の点検

有効性の点検	(1) 目標（目的）指標の達成状況	
	<input checked="" type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標を下回った	
実現性の点検	(2) 実施前、想定していた目標・目的が達成できた理由またはできなかった理由	
	派遣職員1名の目標に対し、目標どおりの派遣が実施できた。	
実現性の点検	(1) 事業への反映	(具体的内容)
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できる <input type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できない	習得した知識を所管事務に活かしている。
	(2) 公共性の評価	(具体的内容)
	本研修及び調査・研究を通じて <input type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できる <input checked="" type="checkbox"/> 住民へ利益を将来的に還元できる <input type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できない	習得した技術を所管事務に活かすことにより、住民サービスの向上につなげている。

### 5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了（完了）	■ 現状維持
実施予定時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> 目標・目的未達成	<input type="checkbox"/> 目標・目的達成	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		■ 現状維持
実施予定時期					
実現性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業へ反映	<input type="checkbox"/> 事業に反映できない	<input type="checkbox"/> その他		■ 現状維持
実施予定時期					
具体的内容	「必要性の点検」から、本町にとって本事業は必要不可欠であり、今後においても定期的に職員の派遣をしていく計画である。自主財源が乏しい自治体にとっては、ほかの財源の確保が難しく事業の継続はなくてはならないと位置づけている。				